

Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 北山 恒 | Koh Kitayama



ミラノの界隈は街区の中にある

ヨーロッパの街を歩くと連続壁体(アーバンファサード)によって

切り取られた都市空間を体験する。

公的な空間と私的な空間は明確に区分されているのだ。

都市はパブリックという概念を教育する装置として働いている。

私たちの街にある界隈という公私が行き来する空間は、

旅行者には見えない街区に守られた中に存在する。

パリではパッセージであるし、ミラノではここだ。

撮影地:イタリア・ミラノ(ナヴァリオ地区) | 撮影:2010年

きたやま・こう——横浜国立大学大学院Y-GSA教授・建築家/1950年生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。

1978年、ワークショップ設立(共同主宰)を経て、1995年、architecture WORKSHOP設立主宰。日本女子大学非常勤講師。

主な作品:白石市立白石第二小学校(共同)[1996]、公立刈田総合病院(共同)[2002]、洗足の連結住棟[2006]、祐天寺の連結住棟[2010]など。